

あなたの仕事は 確かな救いだ。

— 茨城のいのちと健康、尊厳を支えてください —

全ての仕事が、 《誰かを救う》未来に繋がる

日本赤十字社の仕事は、非常に多岐にわたり、
幅広い業務を行っています。

事務職と聞いて想像のできるものから、
日本赤十字社にしかない特殊な業務まで、
ありとあらゆる経験が、あなたを待っています。

いずれも、人の命に関わる仕事です。
人々の心とからだの安全を守る仕事です。
災害等に立ち向かう、責任を伴う仕事です。
だからこそ誇り高い仕事だと、我々は信じています。

「誰かの役に立ちたい」というあなたの尊い願いを、
日本赤十字社茨城県支部で叶えてみませんか？

あなたの願いが、
誰かの心の痛みをやわらげ、安心を与え、希望を育む。
そんな未来をともに歩めることを、
職員一同お待ちしております。



Message

日本赤十字社茨城県支部
支部長

寺門一義



赤十字は、アンリー・デュナン（スイス人：第一回ノーベル平和賞受賞者）が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域に広がる赤十字社・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。

日本赤十字社はそのうちの一大社であり、西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、苦しむ人を救うために、国内外における災害救護をはじめとした幅広い分野で活動しています。

日本赤十字社茨城県支部には、支部事務局のほか、水戸赤十字病院、古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、乳児院が設けられ、災害救護や青少年赤十字事業をはじめとして、ボランティアの育成・支援、災害拠点病院として地域に医療を提供する医療事業、献血や血液の供給といった血液事業、様々な事情によって親との生活が困難な乳児を保護し、養育する社会福祉事業などを行っています。

「苦しんでいる人を救う」という日本赤十字社の使命の下、私たちは日々、変化に柔軟に対応しながら、これらの事業に取り組んでいます。

さらに、世界では、ウクライナやイスラエル・ガザの人道危機、民族弾圧、児童労働等が問題視されている中で、「人のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字の役割が改めて注目されています。そんな赤十字の明日をともに担っていく意欲のある方々を心からお待ちしています。

日本赤十字社について

日本赤十字社は、日本赤十字社法に基づいて設立された認可法人です。

日本赤十字社には、本社や全国47都道府県にある支部をはじめ、91の赤十字病院、20の看護師等の教育機関、229の血液事業施設、28の社会福祉施設があり、これらの施設には、約6万8千人の職員が勤務しています。

このように、日本赤十字社の事業は多岐にわたっており、全ての事業は「苦しんでいる人を救う」という日本赤十字社の使命のもとに成り立っています。

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を教うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、常に想像力をもって行動します。

県民の皆さまを守る 担い手として。

日本赤十字社茨城県支部



茨城県水戸市小吹町2551 TEL.029-241-4516



主な業務内容



国内災害救護活動



救急法等講習の普及



青少年赤十字
(JRC) の普及



赤十字奉仕団
(ボランティア)
活動の充実



活動資金の募集
及び確保

事務部門／配属先一覧

◆総務課 ◆組織振興課 ◆事業推進課 合計職員数／19名 事務系職員総数／19名

茨城県支部からのメッセージ

日本赤十字社茨城県支部は、全国47都道府県にある日本赤十字社の支部の一つとして、1888年（明治21年）の創設以来、130年以上にわたって茨城県内の赤十字活動を展開しております。赤十字の根底にある理念「人道」を掲げ、災害救護をはじめ、講習事業の普及、青少年赤十字（JRC）活動、ボランティア活動

等、様々な事業を行っています。それら事業の担い手である当支部の職員は、日本赤十字社の使命を胸に誇りを持って、日々業務に励んでいます。「誰かの力になりたい」「誰かの役に立つ仕事がしたい」そうした思いを持った方、ぜひ私たちに力を貸してください。

菊池 拓未

IT担当として茨城県支部管内施設のデジタル化推進に携わるとともに、会計担当として資産管理業務や設備管理業務などを行っています。

災害救護活動で活躍する姿に憧れを持って。

VOICE



入社理由やきっかけ

災害救護活動で活躍する日赤職員の姿に憧れを持っていたこと、就職活動中は病院への就職を考えていた中で、病院だけではなく様々な仕事に挑戦できる日赤職員に魅力を感じ、入社を決めました。入社後、水戸赤十字病院医事課に配属され、茨城県営業戦略部へ出向、その後同病院企画課秘書広報室を経て、現在は茨城県支部総務課に在籍しています。

最も大変だったこと・苦労したこと

予算積算や、デジタル化推進などの未経験業務に最初は苦労しましたが、自分で調べて分からないことは、同僚や先輩に相談して解決することで、徐々に慣れていきました。

水戸赤十字病院の秘書広報室に在籍していた時は、私自身の考えやアイデアを求められる場面も増えました。アイデアをもとに仲間と議論し、ベストな解決策を見出していくことは、簡単なことではありませんが、やりがいを感じる瞬間です。

学生へのメッセージ

就職活動で思い悩む方もいると思います。私自身も学生時代にそんな経験がありますが、知識やスキルに自信がない業界でも必要以上に不安にならず、一歩踏み出せば興味を持てるかもしれません。私自身も日赤により強く関心を寄せたのは就職活動をスタートしてからでした。

日赤でのあらゆる仕事に興味を持てるかどうか心配な方もいると思いますが、もし一緒に働ける機会があれば、担当業務にやりがいを感じられるように全力でサポートします。

DAILY WORK ROUTINE

9:00	9:15	10:00	10:30	11:00	12:15	13:00	15:00	15:30	16:00	17:30
始業 メール確認	会議資料作成	他課から依頼があった 支出案件の整理	総務課打合せ (令和6年度予算積算に関すること)	予算積算集計表等、 内部向け説明資料の作成	昼食	支部管内施設 によるデジタル化推進 検討会議(Web)	デジタル化 推進検討会議 のまとめ	災害備蓄倉庫の 修繕箇所確認、 見積もり依頼の実施	IT資産に関する 本社報告資料 の作成業務	終業

「地域に愛され、信頼される病院」 であるために。

水戸赤十字病院

茨城県水戸市三の丸3-12-48 TEL.029-221-5177



主な業務内容



総務

職員の人事労務管理、健康管理、人事管理、給与管理、福利厚生、病院運営に係る各種規定の作成・周知



企画・広報

災害・救急・感染症医療関係、医師確保、研修医の受入、経営計画、各種届出、広報、教育研修、秘書業務、保安業務



財務・調度管財

収入支出管理、予算決算、資産運用、物品調達、施設や設備等の資産管理、委託契約業務



医事・医療情報管理

外来患者の対応、入院患者の諸手続き、診療報酬請求、診療録管理、がん登録、診療情報システム等の管理保守



医療社会事業

地域医療機関からの紹介患者受入や連絡調整、退院支援・各種相談業務、人間ドック業務

事務部門／配属先一覧

- ◆総務課 ◆企画課 ◆秘書広報室 ◆渉外・保安室 ◆財務課 ◆調度管財室 ◆医事課
◆業務支援室 ◆医療情報管理課 ◆地域医療連携課 ◆健診課 合計職員数／636名 事務系職員総数／93名

水戸赤十字病院からのメッセージ

当院は、大正12(1923)年に開院して以来、水戸市及び近隣地区の急性期医療を担う中核病院として、地域医療の充実に邁進してきました。当院の事務職員は、主に病院運営に関わる業務を担当し、労務管理や経営企画、物品調達、地域連携、災害対応など幅広い業務を担っています。院内では医師や看護師、薬剤師など多様な職種が働いていることに加え、患者対応、行政機関や取引業者とのやりとりの面

でも、事務職員は様々な人と関わることが多く、コミュニケーション能力や臨機応変な対応が求められます。全ての業務が患者さんへの良質な医療へと繋がる、責任とやりがいのある仕事です。一方で、福利厚生の充実や、職員のステップアップを促す多様な研修の実施など、働きやすく成長の望める環境作りに努めています。「地域に愛され、信頼される病院」を、ともに創っていきましょう。

米川大貴

災害対策に係る体制整備や訓練・研修の調整、救急医療提供体制拡大に向けたマニュアル整備等業務改善、感染症全般の報告業務などを行っています。

何事に対しても

熱心に取り組む習慣を

身につけること。

VOICE



入社理由やきっかけ

当社が、社会貢献の理念に基づき、各事業について広範に取り組んでいるためです。業務内容は所属により多種多様ではあるものの、目下の仕事に邁進することで、実質的に社会貢献が期待できることに魅力ややりがいを感じました。

最も大変だったこと・苦労したこと

新型コロナウイルスのまん延による行政の施策に対し、院内の制度変更には奔走したことです。地域に携わる医療施設としての役割を果たせるよう、関係機関との調整は勿論、現場医療スタッフの実態を見聞し、その先の患者さんを慮って、制度に反映させていくことは大変困難でした。

学生へのメッセージ

思い描く仕事像と実際働いた上での所感は異なるはず。仕事は時に理不尽で、その遂行に心身ともに疲弊してしまうこともあります。ただ、ひたむきな姿勢は、同僚からの協力や、最終的な成果をも引き寄せるように感じています。また、業務を見つめ直すことで、課題や対策が明瞭となり胸のつかえがとれる、また捉え方によっては一種のやりがいとなることさえあります。何事に対しても熱心に取り組む習慣を身につけること、望まないことに対しても自分なりの付き合い方を見出すこと。これらは学生時代から育まれる一方、働く上での大事な素養であると痛感しました。

DAILY WORK ROUTINE

8:30	9:00	9:30	10:30	11:30	12:00	13:00	13:30	14:30	15:00	16:00	17:00
始業 救急患者の 受入れ状況確認	メール・ 予定表確認	救急受入体制の 円滑化に向けた 施策の検討・ マニュアル等作成	他機関依頼の 調査や会議出欠等の 確認・回答	諸事項の対応 (感染症の発生に 係る対応など)	昼食	係内打合せ	災害訓練や 研修全般に係る 資料作成	諸事項の対応 (感染症の発生に 係る対応など)	行政機関への報告に係る データ取りまとめ・ 書類作成	災害訓練や研修全般の 参加協力等の要請や 体制整備	終業

70年の信頼を、 今日も明日も、これからも。

古河赤十字病院

茨城県古河市下山町 1150 TEL.0280-23-7111



主な業務内容



医事課

病院の収益に直結する保険請求業務や、各種医療統計データの分析、医師のカルテ入力補助等



総務課

人事や給与などの労務管理、福利厚生に関する業務、図書室や更衣室の管理、文書管理等



企画課

病院全体に関わるプロジェクトの推進や、利害関係者と良好な関係を築くための広報業務等



財務課

病院運営に必要なお金に関すること全般と、施設の修繕・保安や院内システムの管理等



その他の課

※医療社会事業課や健診課がありますが、新卒で配属される可能性は低いです。

事務部門／配属先一覧

◆総務課 ◆企画課 ◆財務課 ◆医事課 ◆医療社会事業課 ◆健診課

合計職員数／352名 事務系職員総数／47名

古河赤十字病院からのメッセージ

当院は2023年に70周年を迎え、これまで以上に地域に頼られる病院を目指しています。事務職員は限られた人数の中で、1人1人の裁量が大きく、幅広い業務経験を積めることが特徴です。上司が部下の自由な発想や新たなチャレンジを歓迎する風土もあります。業務遂行にあたり、患者さんを第一に考えるのはもちろんのこと、「職員がやりがいを持って働ける環境にするにはどうしたらいいか？」という視点も大切にしています。

事務系総合職の配属先は、医事課、総務課、企画課（含む教育研修推進室）、財務課（含む施設・用度管理室）、医療社会事業課、健診課の6か所です。配属された課内だけで完結する仕事より、課や部の垣根を超えて協力しなければ進まない仕事のほうが多いかもしれません。個人の強みを活かしながら積極的に仕事に取り組みたい、そんな意欲のある方をお待ちしております。

佐藤 梢

診療情報管理業務です。入院の理由となった病名の妥当性や手術・処置内容をチェックし、適切な保険請求ができるかどうか、判断することが私の仕事です。

【育児短時間勤務利用】

何年経っても
新たな発見があり、
業務を深められる。

VOICE



入社理由やきっかけ

「血が苦手でも医療に携わりたい」という思いから、大学で医療情報を学びました。卒業直後は別の病院に就職しましたが、1年勤務した後、博愛の精神に魅かれ、日本赤十字社茨城県支部の採用試験を受けました。水戸日赤に3年、古河日赤に8年勤務しています。

最も大変だったこと・苦労したこと

病院事務職は2年に1回の診療報酬改定に対応する必要があります。常に新しい情報を取り入れなければならない大変さがありますが、何年経っても新たな発見があり、業務を深められる点はやりがいでもあります。

例えば、病名・手術の術式・使用する材料（例：固定用のワイヤー等）が一致していないと病院の収入には結び付きません。自分の解釈で算定方法が変わることもあり、力量も問われるため苦労していますが、収益に結び付く働きが出来たときは嬉しく感じます。

学生へのメッセージ

日赤は働きやすいです。病院という組織のためか、子どもの突発的な体調不良を「子どもはそういうもの」「病気は仕方ない」と淡々と受け止めてくれる雰囲気には助けられています。人員調整がつけば、割愛制度を使って他都道府県の赤十字施設へ異動できる柔軟さも魅力の1つです。ライフスタイルが変わっても長く働き続けたい方には、お勧めの職場です。

DAILY WORK ROUTINE

9:30

始業
入院患者
退院患者
DPC病名確認

10:00

入院患者・在院患者
DPC病名登録
退院サマリ登録

11:30

昼食

12:30

かん登録・
その他統計業務

14:30

翌日退院患者
DPC病名確認

15:24

終業

(現在、時短勤務のため9:30-15:24の勤務時間です)

献血で救える命がある、 それを支える私たちがいる。

茨城県赤十字血液センター



茨城県東茨城郡茨城町桜の郷3114-8 TEL.029-246-5566



主な業務内容



総務

事業運営にかかる各種調整事務（総合企画、人事・給与、予算・固定資産・庁舎管理、システム等）



献血推進

献血の協力依頼・献血会場の設定・推進普及活動、献血者の受付・接遇、献血者情報の管理・事前予約の推進



学術情報・供給

血液製剤の使用に関する情報の提供・収集（学術情報）、血液製剤の保管、及び医療機関への輸送（供給）



品質情報

血液製剤の安全性を担保するため、手順や教育体制の改善、点検



医務

採血業務に不可欠な医師の募集・手配、献血者の健康被害及び献血相談等

事務部門／配属先一覧

◆総務課 ◆品質情報課 ◆医務課 ◆献血推進課 ◆学術情報・供給課 ◆つくば供給出張所

◆つくば出張所（献血ルーム） ◆水戸出張所（献血ルーム）

合計職員数／178名 事務系職員総数／112名

赤十字血液センターからのメッセージ

私たち血液センター職員が担っている血液事業ですが、現在の（無償の）献血により輸血用血液製剤を確保する体制が確立してから約60年が経過しています。時代の流れとともにルールや業務形態、社会的要因やデジタル化等、様々な変化がありました。それでも変わらないものがあります。それは、輸血を必要とする患者さんのため、広く献血の重要性を知ってもらい、多くの方々に協力をいただくこと、そして、それを支え

続けていくことです。

これを成していく為には、多様化する世の中に順応していける柔軟性や失敗を恐れないチャレンジ精神、人と人との繋がりを大切に、関係各所とWin-Winの関係を築いていけるコミュニケーション力が必要であると感じています。

若く、そして新しい皆さんの力で、ともに血液事業を支え、盛り上げていきましょう。

竹内 萌々香

企業・団体様を訪問し、献血協力依頼や実施に向けた各種調整業務のほか、献血の普及推進のため、SNSによる情報発信やセミナー等を開催しています。

いつか
「献血推進マイスター」と
呼ばれる存在に。

VOICE



入社理由やきっかけ

もともと地元が好きで地域に貢献しながら仕事をしたい思いがあり、以前まで県内の総合商社に勤めていましたが、ボランティアに興味があったことも相まって、日本赤十字社での仕事に興味を持ち、地域や人々に寄り添った活動に魅力を感じたので入社を決めました。

最も大変だったこと・苦労したこと

私が担当している仕事は、献血バスを受入れていただく配車先となる市町村や企業とのスケジュールリング、一人でも多くの方に協力してもらえるよう献血の実施を広く伝えるためのポスターやチラシ作成、少しでも献血の大切さを伝えるために企業や団体に向けたセミナーの開催など、多岐にわたります。献血を実施するためには、当日のスケジュールや献血バスの駐車位置、その他注意が必要なことなど、細やかな内容を受入れ先と調整する必要があり、「献血」への知識がまだ浅い初めのうちは、相手からの問い合わせや要望にうまく応えられないことも多く、その度に悔しい気持ちがありました。今では、「献血」に対する知識や理解が深まり、私から積極的に提案をしたり、企画の立案も行えるようになり、日々、自分の成長を感じながら業務にあたっています。いつか「献血推進マイスター」と呼ばれる存在になれるよう精進していきたいです。

学生へのメッセージ

このパンフレットを読んでいる方は、ぜひ自分を知る絶好のチャンスだと思って楽しみながら就職活動をやってみてください。皆さんと同じように就職活動をしていた時、ただひたすら企業説明を聞いていたあの時間が本当に苦手でした。そんな中、ある先生から「就職活動は、自分の性格やどんなことができるのかを知る機会だ」と教えてもらった瞬間、就職活動に対する重い気持ちが軽くなったことを覚えています。大変なこともあるかと思いますが、ぜひ自分のペースで楽しみながら仕事を探してみてください。その選択肢の中に「日本赤十字社」があれば、嬉しいです！

DAILY WORK ROUTINE

8:30	9:30	10:30	14:30	15:30	16:00	17:00	18:30
始業 メール、スケジュール確認、 外出準備	外出 (担当エリア:土浦市、 稲敷郡) (移動)	外回り(献血協力団体(企業、団体等)、市町村) ○挨拶/打ち合せ ○ポスター設置・配布 お昼休み(45分)	(移動)	帰所、 日報(活動記録) 作成	メール作成 (案内文、広報用 データ送信等)、 ポスター・チラシ作成	内部ミーティング ○担当エリアにおける 推進活動状況報告 ○業務連絡	終業

(定時終業時刻)

子どもたちの笑顔を 未来につなげよう。

日本赤十字社茨城県支部乳児院



茨城県水戸市小吹町2673-1 TEL.029-240-3800



主な業務内容



総務

電話や来客の対応、文書管理、スケジュール管理、院内外に係る事務



人事

職員の採用・退職・異動手続き、職員情報の管理、勤務評定等



労務

給与計算や社会保険、産休・育休など福利厚生に係る事務手続き等



会計

仕訳伝票入力、予算・決算全般等



施設

物品の購入、施設全体の管理・契約・修繕、PC・システム管理等

合計職員数／47名 事務系職員総数／3名

乳児院からのメッセージ

日本赤十字社茨城県支部乳児院は、児童福祉法に基づき認可・設立された福祉施設で、昭和25年に水戸赤十字病院内に乳児預り所として開設され、平成15年に現乳児院に新築移転しました。当院では、家庭の様々な事情により養育困難な小学校就学前までの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育を行っております。38名の子どもたちの健やかな成長を願い、毎日明るく楽しく落ち着いた生活ができるよう、子どもたち個々の発達段階に応じた

養育を行い、家庭的養護を目指したよりきめ細かなケアに取り組んでおります。また、関係機関と連携し、地域の子育て支援にも取り組んでおり、私たちは、子どもたちが安心安全に生活できる環境の提供と、子どもたちの笑顔を未来につなぐ役割と責任を担っています。

乳児院スタッフは、笑顔いっぱいの子どもたちと一緒に、皆さんとお仕事できる日を心待ちにしています。

2004年入社

総務係

児島明日香

職員の入退職の手続きや給与計算、小口現金の取扱い、各種調査への回答、施設管理、電話・来客の対応などを行っています。

ワークライフバランスも
実現しながら、
地域に貢献できる仕事。

VOICE



入社理由やきっかけ

私はもともと大学進学を考えておらず、高校在学中から地元茨城で就職したいと思っていました。高校3年生の時、希望の就職先が見つからず悩んでいた私に、当時の担任が勧めてくれたのが赤十字でした。当初は赤十字の事をよく知らなかったのですが、調べていくうちに、地域に貢献できる事業内容に魅力を感じ、入社を志望しました。

最も大変だったこと・苦労したこと

以前は事務長と私の二人しか事務員がおらず、日々の業務に追われる毎日でした。そんな中で、新しいシステムの導入があり、ICT関係の知識に乏しい私は通常業務に加えた慣れない業務に苦戦してしまいました。でも、そんな時には上司や周囲の人も一緒に悩んで力を貸してくれます。時には苦手分野の仕事をすることもあります。一人で悩まず、その苦労は自分の成長の糧になると思って取り組んでいます。

学生へのメッセージ

乳児院では少ない人数で幅広い業務を行うので、確かに大変なことも多いです。ですが、アットホームな雰囲気の中で子ども達の笑顔に癒されることも多くあります。福利厚生もしっかりしているので、ワークライフバランスを実現しながら、地域に貢献できる仕事ができる魅力的な職場です。

DAILY WORK ROUTINE

9:00	9:45	10:10	10:40	11:40	12:15	13:00	13:45	15:00	15:30	17:30
始業 電話・来客対応	文書の收受・確認	メール確認	発注・検品作業	各種調査回答	昼食	電話・来客対応	業者等への振込手続き (ネットバンク・銀行等) 給与計算・振込手続き	入退職職者の各種届出 小口現金の払出・戻入	施設内修繕 の対応等	終業

令和7年度正職員（事務系総合職）採用試験について

茨城県内の赤十字施設（日本赤十字社茨城県支部・水戸赤十字病院・古河赤十字病院・茨城県赤十字血液センター・乳児院）合同の採用試験を実施します。

募集要項をご確認いただき、マイナビサイトよりエントリーのうえ、ご応募ください。

※詳細は以下募集概要または日本赤十字社茨城県支部ホームページ 職員採用情報をご確認ください。
 ※指定履歴書のE-mail欄は読み方も含め必ずご記入ください。

記入例：E-mail a-bc_12@de.jp

読み方 エーハイフンピーシーアンダーバーイチニ@ディーイーードットジェイビー

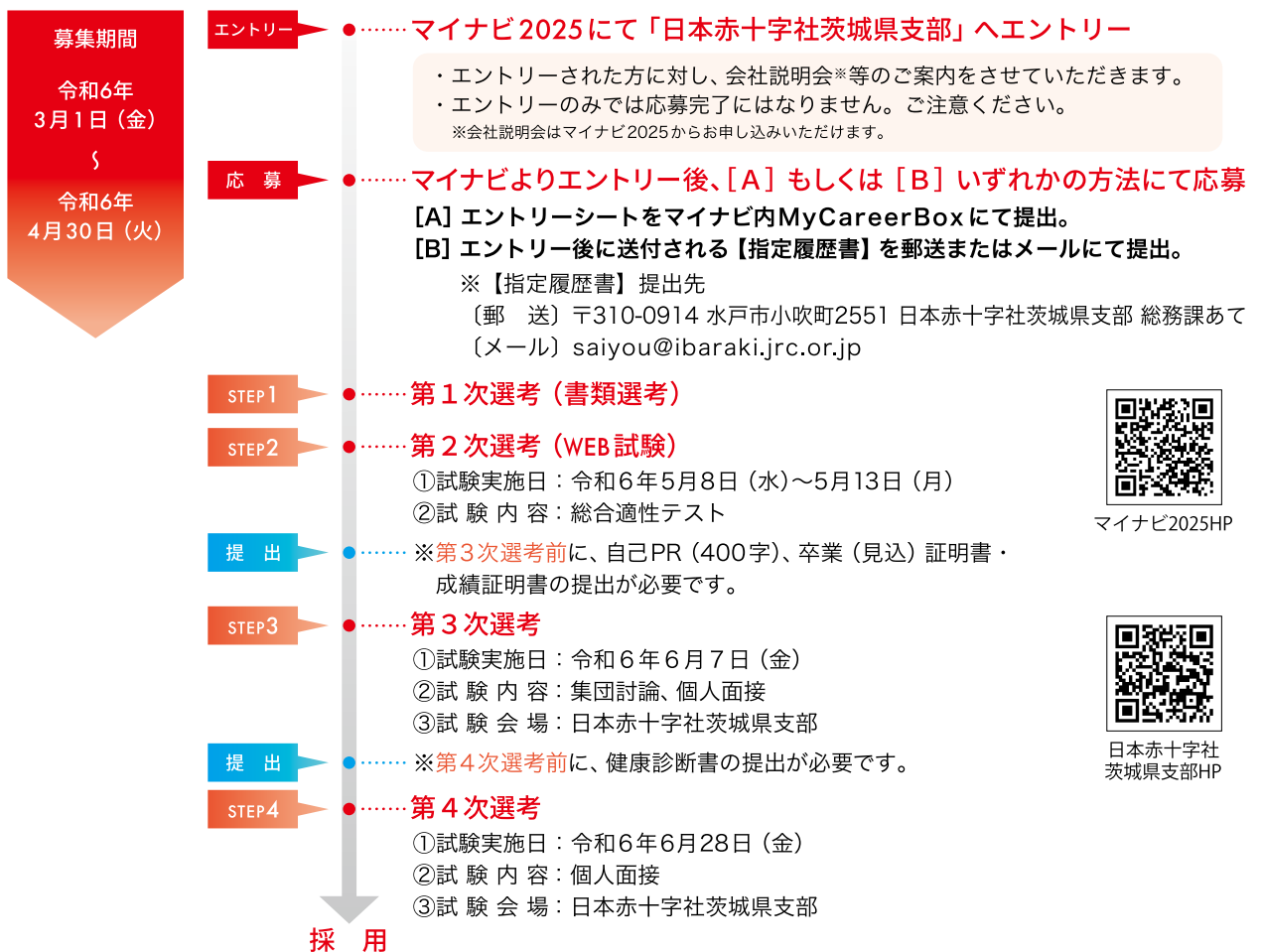


事務系総合職
職員採用情報は
こちらから。

募集概要

- 募集職種** 事務系総合職
- 採用人数** 若干名
- 採用期日** 令和7年4月1日
- 配属先** 日本赤十字社茨城県支部、水戸赤十字病院、古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、乳児院のいずれかに配属します。
※採用後は、上記の赤十字施設間で異動することがあります。
- 応募資格**
 - 4年制大学を卒業した方又は令和7年3月までに卒業見込みの方。
 - 平成7年4月2日から平成15年4月1日の間に生まれた方。
 - 普通自動車運転免許を所有の方（A T限定も可。未取得者は、入社時までに取得のこと。）

◆採用までのステップ



マイナビ2025HP



日本赤十字社
茨城県支部HP

◆本採用試験に関する問合せ先

日本赤十字社茨城県支部 総務課 採用担当

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2551 TEL：029-241-4516（平日9時～17時30分） Mail：saiyou@ibaraki.jrc.or.jp

勤務条件等

- 基本給** 196,200円 ※職歴のある方は当社規程に基づき、前歴換算します。
- 諸手当** 扶養手当、地域手当(0%~16%)、通勤手当、住居手当、時間外手当 等
※参考(給与+地域手当)：196,200円~227,592円
- 昇給** 年1回
- 賞与** 年2回
- 就業時間** 1週間38時間45分 ※始業・終業時刻は、勤務先によって異なります。
- 休暇** 年次有給休暇、特別有給休暇(結婚、出産、ボランティア休暇等)
- 福利厚生** 社会保険、企業年金基金、グループ保険、育児休業制度、育児短時間勤務制度、退職金制度 等

各種制度等

- 研修**
 - 集合研修
新規採用職員研修、入社1年目フォローアップ研修、中堅職員研修等
 - e-ラーニング受講
ビジネススキル・ビジネス教養や、各課業務の基礎知識を学べます。
 - 資格取得支援制度
自身の業務に関連した幅広い知識習得を目指す職員もいます。
 - その他教育・研修制度
各事業に特化した内容の研修を、施設・事業単位で実施しています。
- 人事異動**
 - 数年ごとの人事異動
さまざまな課の業務を経験し、多角的な視点を持ったゼネラリストの育成を目指します。
日本赤十字社本社や茨城県庁等において、経験を積むこともあります。
- 求める人物像**
 - 人との繋がりを大切に、信頼関係を築ける人材
 - 多様化する社会、環境に柔軟に対応できる人材
 - 課題や問題点を見出し積極的に行動できる人材

手厚い福利厚生で職員をサポート

育休制度を利用した先輩に聞きました！

高橋一浩 さん

水戸赤十字病院 医療情報管理課 2018年入社



福利厚生を活用し家族をサポート

妻が初めての出産ということもあり、退院後はできる限りサポートしたいと考えて、育児休暇を19日間取得しました。

家族に寄り添いかけがえのない貴重な経験を

3時間おきのミルク授乳、おむつ交換、沐浴、着替え、眠いのに寝付けず泣き出した時は、抱っこしてあやすなどの世話に追われ、気付けば1日があっという間に終わっていました。

言葉が話せないので、一生懸命泣きながら何かを伝えようとしている姿を毎日見ているうちに、お腹が空いているのか、眠いのか、おむつを替えてほしいのかなどが何となくわかるようになりました。

里帰り出産をせず、退院直後からの子育ては生活のリズムがなかなか掴めず大変ではありましたが、かけがえのない貴重な経験ができた19日間だったと思います。

管内施設のご案内

水戸赤十字病院

〒310-0011
茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177

- JR水戸駅北口から徒歩約15分
- JR水戸駅北口3番乗り場〔茨城交通バス 日赤直行バス〔日赤・城東・若宮団地〕行きに乗車、約10分程で「日赤病院」にて下車

日本赤十字社茨城県支部

〒310-0914
茨城県水戸市小吹町2551
TEL.029-241-4516

- JR水戸駅北口6番乗り場〔(関東鉄道バス) 県庁バスターミナル、県自動車学校、水戸医療センター〕行きに乗車、約20～30分程で「国土交通省前」にて下車、徒歩約10分

日本赤十字社茨城県支部乳児院

〒310-0914
茨城県水戸市小吹町2673-1
TEL.029-240-3800

- JR水戸駅北口6番乗り場〔(関東鉄道バス) 県庁バスターミナル、県自動車学校、水戸医療センター〕行きに乗車、約20～30分程で「国土交通省前」にて下車、徒歩約15分

献血ルームMEET

〒310-0015
茨城県水戸市宮町1-7-31
水戸駅ビルエクセルみなみ 6F
TEL.029-224-9226

- JR水戸駅改札から南口へ徒歩1分、エクセルみなみビルの6Fです

古河赤十字病院

〒306-0014
茨城県古河市下山町1150
TEL.0280-23-7111

- JR古河駅東口バス乗り場 (JRバス関東) より「古河赤十字病院」にて下車
 - ・〔(古河市内循環バスぐるりん号) 通勤通学コース〕 (反時計回りは約8分、時計回りは約25分)
 - ・〔(古河市内循環バスぐるりん号) 総和庁舎・病院コース〕 (反時計回りは約8分、時計回りは約40分)

つくば供給出張所

〒305-0821
茨城県つくば市春日1-10
筑波メディカルセンター健康増進センター Act
TEL.029-860-2501

- つくばセンターバスターミナル6番乗り場〔(関東鉄道バス) 筑波大学循環〕に乗車、約5分程で「筑波メディカルセンター前」にて下車、徒歩約1分

つくば献血ルーム

〒305-0031
茨城県つくば市吾妻1-7-1
トナリエつくばスクエアCREO 4F
TEL.029-852-7888

- TXつくば駅A3出口/つくばセンターバスターミナルから徒歩約3分

茨城県赤十字血液センター

〒310-3117
茨城県東茨城郡茨城町桜の郷3114-8
TEL.029-246-5566

- JR水戸駅北口6番乗り場〔(関東鉄道バス) 水戸医療センター〕行きに乗車、約40分程で「桜の郷(さくらのさと)」にて下車、徒歩約1分
- JR赤塚駅南口4番乗り場〔(茨城交通バス) 水戸医療センター〕行きに乗車、約25分程で「桜の郷」にて下車、徒歩約1分

